

**2023年度
「正会員に対する活動助成」活動報告書**

団体名	一般社団法人栃木県社会福祉士会
-----	-----------------

■活動報告の詳細

活動名称	組織率向上に関する助成
活動の目的	<p>本活動の目的は、未入会者への入会促進並びに退会者の抑制による組織率の向上を目指すものである。</p> <p>栃木県では、2019年（第31回国家試験）から2023年までの過去5年間で、855名の合格者があったが、2019年度から2023年度の入会者数の合計は152名、17.8%の入会率であった。</p> <p>しかし、毎年、入会后5年未満で退会される方も見られ、未入会者への勧誘活動はもとより、退会抑制のための活動に力を注ぐ必要がある。</p> <p>特にこれまで栃木県社会福祉士会として退会者の抑制に焦点を当てた活動は実施していなかった。だが、上記のように、退会抑制を目的とした組織率の向上の活動を展開したい。</p> <p>栃木県社会福祉士会は2024年6月、日本社会福祉士会全国大会・学会を開催する。当会の理事を中心に魅力ある会の活動の量と質の充実を図るとともに、全国大会・学会の開催を広く関係諸氏、関係団体にアピールし、それをバネに当会の活動に会員を巻き込むことを押し進め、会員数の増加及び維持を図っていきたい、</p>
実施した活動の内容	<p>1) 栃木県社会福祉士会の周知および認知度向上を目指すポスターの作成 理事を通じてポスター貼付の依頼を行う。</p> <p>⇒ ポスターを2種類作成した。 市町村社会福祉協議会及び県社会福祉協議会に貼付を依頼し、掲示していただいた。（市町：25か所、県：1か所） 理事により、関係する事業所及び機関に配布し掲示していただいた。 2023年4月から随時。</p> <p>(2) 未入会者向け入会促進三つ折パンフレット作成。委員会の紹介も掲載 理事を中心に未入会者がいる事業所・関係機関への配布を行う。</p> <p>⇒ 入会促進のパンフレットを作成した。 2024年3月より随時配布。</p> <p>(3) 栃木県社会福祉士会の名前入りクリアファイル作成 基礎研修や任意研修、ぱあとなあ成年後見人材育成研修、外部評価調査訪問、第三者評価調査訪問などの際に、資料と共に配付する。</p> <p>⇒ クリアファイル（2種類）作成した。 県士会会員並びに関係機関に配布した。 2023年12月より随時配布。</p> <p>(4) 委員会活動を周知するための広報活動費用（各員会の内容を記した折りパンフレット作成） 基礎研修などの研修、および（6）の懇談会の際に配付する。</p> <p>⇒ 入会促進のパンフレットに委員会活動も記載して作成した。 2024年3月</p> <p>(5) 「5年目にお会いしましょう、ワンダフルとちぎ」（仮称）研修無料制度</p>
会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可	

	<p>(周知のためのチラシ作成)</p> <p>1年目、5年目、10年目、15年目、20年目にあたる会員は、その年度の当会が開催する任意研修を無料とする研修無料制度である。</p> <p>任意研修とは、研修委員会が開催する栃木県社会福祉士会独自の研修で、開催は年3回程度、受講料は会員1000円である。</p> <p>通常、任意研修の受講者数は一回30名程度である。そのうち、該当する会員は多く見積もっても5名～10名程度、年3回参加で一人3000円、当会が負担する見積もり費用は上限3万円程度である。</p> <p>⇒2023年9月、理事会に企画書を提出。その後、「ワンダフルとちぎ」の内容を基礎研修1の対面の研修で周知、会報に掲載。2月23日開催の研修「みんなのオープンダイアログ」から実施。</p> <p>(6)「新倫理綱領」の研修を兼ねた新規入会者への情報提供とコミュニケーション促進を目的とする理事、委員会委員との懇談会開催(とちぎいちご会)</p> <p>開催回数：年2回想定(顔合わせの7月と退会抑制のための2月)</p> <p>研修委員会を中心に開催を準備する。</p> <p>⇒基礎研修1(2023年8月19日、会場：とちぎ福祉プラザ、参加者：54名)、「新倫理綱領」の研修(2024年3月2日、会場：とちぎ男女共同参画センターパルティ、参加者：19名)の研修の際に実施。</p>
<p>活動の成果</p>	<p>日本社会福祉士会からいただいた助成金は、栃木県社会福祉士会に確実に良い影響をもたらした。</p> <p>2022年度3月末の会員数は521人であった。その後、2023年3月末530名、2024年4月10日現在567名と順調に増加している。</p> <p>ポスターを2種類(栃木県社会福祉士版、成年後見制度版)作成し、関係部署に配布を行ったが、その他に研修会場や2023年5月末の総会の会場にも大きな額に入れて持参している。ポスターが社会福祉士会の存在を常にアピールしてくれている。</p> <p>2023年10月、安藤副会長が栃木県社会福祉士会の事務所にお越しになった際にポスターを見ていただいた。</p> <p>このポスターは、2024年6月開催の全国大会・学会の会場でも多数掲示しようと考えている。</p> <p>同じく、クリアファイルを2種類(ポスターと同じ図案2種類)作成し、すべての会員及び関係団体に配布した。ポスター同様、栃木県社会福祉士会の存在を周知することができた。</p> <p>栃木県社会福祉士会の予算だけでは、通常の業務に使用する経費だけで精いっぱい、広報活動に使うポスターやクリアファイル等まで賄う余裕がない。</p> <p>今回、日本社会福祉士会様から、このような目的で使える助成金を頂戴し、大変助かった。</p> <p>また、今回の助成金申請に際し、県士会の活動を見直し、入会促進大会抑制を考える良い機会となった。</p> <p>結果として、経済的な支援を頂いただけではなく、理事・委員会の委員を中心とする核となるメンバーに栃木県社会福祉士会を盛り上げていこうとする意識が高まり加えて凝集性も高まった、その意識が委員会活動、全国大会・学会にも向けられ、相乗効果が見られる。</p> <p>栃木県社会福祉士会会員一同、日本社会福祉士会様の助成金事業には心より感謝申し上げます。</p>

<p>活動実施を 通じての課題 実施していく中 で、見えてきた活 動遂行における課 題</p>	<p>実施していく中で見えてきた課題は、やはり県士会内で様々な事業を担う“人”は誰か、ということであった。</p> <p>通常の県士会の業務の他に、今回の助成金の事業は追加で行う業務となり、それを担当する人の負担が増加している点は否めない。</p> <p>会員は社会福祉士として日中、職場の業務に奮闘していると思うが、社会福祉会の活動はやはり時間的余裕のある人に限られてくる。</p> <p>そのような状況においても、県士会の事業推進に熱意をもって参加して下さる理事や各委員会の委員がいる、そのような理事や委員の皆様にも感謝している。</p>
<p>活動の実施状況・ 実施結果に関する 情報の公開</p> <p>あてはまるものに チェックと内容詳 細を記入ください</p>	<p>※貴法人のホームページでの公表は必須となります。</p> <p>情報の公開方法（複数選択可）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>